



MiJS

Made In Japan Software & Service Consortium
ソフトウェアで日本を強くする





MiJS

焚火から連想される言葉は、仲間、同志、共創、語り。
焚火を囲むとコミュニケーションが円滑になり、団結力も高まる。
自身を顧み、お互いを認め合える温かい空間で未来について
ワクワクしながら語り合う。
火にくべる薪は囲む彼ら一人ひとりの信念を表し、
その薪から大きな炎が生まれる。

個々の力は弱いかもしれないが、一つになることで大きな1歩
となり、そして時代が動く。

企業、組織の焚火のような存在をMIJSは今後担っていくべき
ではないでしょうか。

企業と組織の成長を促進し、日本を強くするために。

「未来の話をしよう。MIJSとともに」
「小さな火種・意思の集まり」

MIJSの大義(Value)

- ・ “ソフトウェアで日本を強くする”
- ・ 「組織と個人の成長」を促進する
- ・ この信念を強く持つ経営者の団体がMIJSである

MIJS会員のメリット

- ・ MIJS会員との相互の情報共有（技術、営業／マーケティング手法、人材育成）
 - ・ 会員相互の刺激により個人の成長が図れる
 - ・ 新たな人脈が形成できる
 - ・ 協業によるビジネス促進（アライアンス）
- ※他団体との違い：経営層が積極的に参加し活動をコミットする**

MIJSのゴール(あるべき姿)

- ・ 企業の成長に貢献する
- ・ 会員が自発、自立した組織活動が出来ている
- ・ この業界を楽しくする
- ・ 子供に推薦する産業にしたい（現在はまだ地位が低い、人気職種にしたい）

新理事長挨拶



MIJSは2005年に、国内の主要なソフトウェア製品ベンダーが集まり結成されました。

「日本発のソフトウェアを海外へ！」を合言葉に活動を開始しましたが、2019年に活動方針を再定義し、「ソフトウェアで日本を強くする」ことを目的に活動を続けています。参加企業はベンチャー企業から上場企業まで幅広く、自社の製品・サービスを中心にビジネスを展開している企業の比率が多いことが特徴です。

MIJSの具体的な活動として、営業・マーケティング、技術、人事などの分野で、企業の垣根を越えて情報交換および交流を行っています。また経営者自らが積極的に活動に参画し、新たな協業やビジネス連携も多数生まれています。MIJS内部にとどまらず、外部の様々な「尖がった」企業・個人をお迎えしてビジネスネットワーキングを行うmeetALIVEというイベントも開催しています。

2020年はコロナに明け暮れた1年となりました。このような中でも、あるいはこのような状況であるからこそ、MIJSはより活発に活動を継続してまいりました。今は世界中の企業が「生き残り」をかけて言えば「ふるいにかけている」状況です。先が見えないからこそ、信頼できる仲間とともに、切磋琢磨しながらあるいはお互いを支えあいながら進んでいく、MIJSはそのような団体でありたいと願っています。

「ソフトウェアで日本を強くする」ためには、各企業の努力やMIJSの活動を通して、参加企業それぞれが強くなる必要があります。そのためにMIJSはこれからも活動を続けてまいります。

今後もMIJSの活動にご支援・ご声援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



MIJS 理事長 羽田 雅一
ビジネスエンジニアリング株式会社
代表取締役・取締役社長

ソフトウェアで 日本を強くする

理事長	羽田 雅一 ビジネスエンジニアリング株式会社 代表取締役・取締役社長
副理事長	山田 誠 株式会社テラスカイ 専務執行役員 製品事業ユニット長
常務理事 (MIJSファウンダー)	内野 弘幸 ウイングアーク 1 s t 株式会社 取締役会長 梅田 弘之 株式会社システムインテグレータ 代表取締役会長 CCO
監事(監査役)	内山 雄輝 SALES GO株式会社 代表取締役社長

理事

仙波 克彦	株式会社アイサイト 代表取締役社長
川端 光義	株式会社アジャイルウェア 代表取締役
平野 洋一郎	アステリア株式会社 代表取締役社長/CEO
美濃 和男	株式会社WOW WORLD 代表取締役
岡本 康広	株式会社 エイトレッド 代表取締役社長
中山 義人	株式会社NTTデータ イントラマート 代表取締役社長
飯島 邦夫	クオリティソフト株式会社 取締役
後藤 清孝	株式会社システムエグゼ 専務取締役
水野 貴司	株式会社シムトップス 代表取締役社長
市川 聡	デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社 代表取締役社長
安原 武志	株式会社データ・アプリケーション 代表取締役社長執行役員
水本 良	株式会社日本システムデザイン 取締役
松森 正彦	株式会社ネクスウェイ 代表取締役社長
大山 堅司	株式会社ブロードリーフ 代表取締役社長
清水 宏太	株式会社 無限 代表取締役

【理事会員】20社

株式会社アイサイト
株式会社アジャイルウェア
アステリア株式会社
ウイングアーク1st株式会社
株式会社エイトレッド
株式会社NTTデータ イントラマート
クオリティソフト株式会社

株式会社システムインテグレータ
株式会社システムエグゼ
株式会社シムトップス
SALES GO株式会社
デジタル・インフォメーション・テクノロジー株式会社
株式会社データ・アプリケーション
株式会社テラスカイ

株式会社日本システムデザイン
株式会社ネクスウェイ
ビジネスエンジニアリング株式会社
株式会社ブロードリーフ
株式会社無限
株式会社WOW WORLD

【一般会員】42社

株式会社アイエルアイ総合研究所
株式会社アジルコア
アーカス・ジャパン株式会社
株式会社インプリム
株式会社H&K
エレクス株式会社
株式会社オネスト
キャノンITソリューションズ株式会社
株式会社クエストラ
株式会社グラフィシア
グレースィティ株式会社
CROCO株式会社
株式会社コアコンセプト・テクノロジー
株式会社神戸デジタル・ラボ

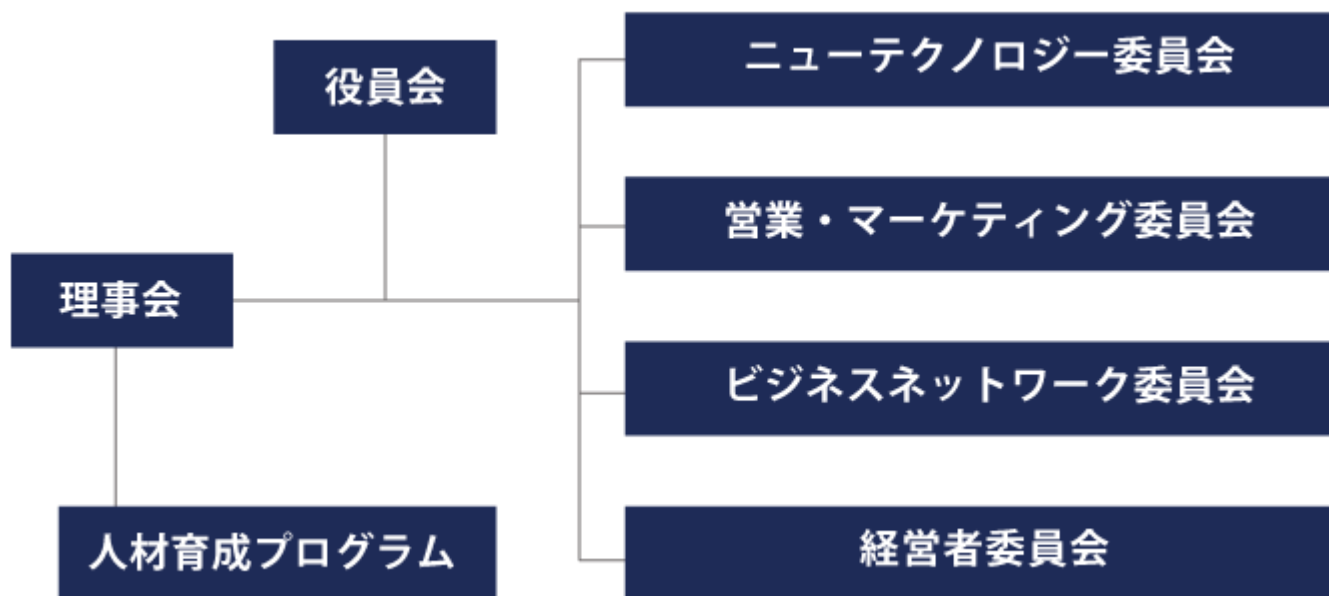
コクヨ株式会社
株式会社サーバーワークス
JBアドバンスト・テクノロジー株式会社
ジーニーラボ株式会社
株式会社ジャスミンソフト
株式会社ジョイゾー
株式会社ストラテジット
株式会社SpiralMind
SALES ROBOTICS株式会社
タクトシステムズ株式会社
テックタッチ株式会社
株式会社ディー・ディー・エス
株式会社ディーバ
東芝デジタルエンジニアリング株式会社

株式会社ドヴァ
株式会社ランザクト
株式会社ネオレックス
株式会社バルクホールディングス
バルテス株式会社
株式会社日立システムズ
株式会社ヒューマンセントリックス
ファイルフォース株式会社
株式会社 PHONE APPLI
富士通株式会社
ラティス・テクノロジー株式会社
LiLz株式会社
株式会社ログラス
株式会社ユニリタ

【スタートアップ会員（2023年6月新設）】1社

KEEN株式会社

委員会を中心としたエネルギーギッシュな活動がMIJSコンソーシアム躍動の源泉



定例会



meetALIVE



MIJSプレゼン研修



MIJS働き方改革事例セミナー



合同新人研修

ニューテクノロジー委員会		ビジネスネットワーク委員会	
委員長	畠中 晃弘 株式会社クエストラ 執行役CTO	委員長	森脇 匡紀 ウイングアーク1st株式会社 執行役員
営業・マーケティング委員会		人材育成プログラム	
委員長	井口 和彦 株式会社ドヴァ	リーダー	
経営者委員会 (2021年4月新設)			
委員長	美濃 和男 株式会社WOW WORLD 代表取締役		

2023年度年間スケジュール



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ニューテクノロ ジー委員会	11日 定例	9日 定例	13日 定例	11日 定例	1日 定例	8日 - 9日 夏合宿	10日 定例	14日 定例	12日 定例	9日 定例	2日-3日 冬合宿	12日 定例
ビジネスネット ワーク委員会		30日 meetALIVE	27日 meetALIVE			12日 meetALIVE				23日 meetALIVE	7日 meetALIVE	
営業・マーケティ ング委員会			12日 交流会	12日 新規事業 企画		22日 プレゼン 研修	3日 プレゼン 実践	8日 定例		24日 定例		13日 営業研修
人材育成 プログラム	4日 - 11日 合同 新人研修					7日 FollowUp 研修		21日 プレゼン 研修			19日 - 26日 Programming Contest	7日 Programming Contest レビュー会
経営者委員会	第1回 28日			第2回 28日			第3回 20日			第4回 26日		
理事会	第1回 19日			第2回 19日				第3回 15日			第4回 16日	
イベント						1日 アイデアソン 募集開始	25日 - 27日 Japan ITWeek 共同出展	17日 地方WS 鹿児島	16日 アイデアソン 結果発表			

委員長：株式会社クエストラ 執行役CTO 畠中 晃弘

ニューテクノロジー委員会は、会員各社のIT技術者を中心とした委員会です。「知識・経験・好奇心を持ち寄って、**1) 切磋琢磨し技術基盤を強化、2) ニューテクノロジーへの取り組み、3) エンジニアコミュニティを構築**」を活動方針として、1～2ヶ月に1度のペースで活動を行っています。活動の中心は、会員各社の事例の発表による知識の共有、希望するテーマに別れての技術調査の2つです。特定の技術テーマに沿った集まりでは無いので、「**普段接することのない知識を得ることができる**」というのが、1つの特徴です。



定例会



開発合宿

技術調査（2023年度分科会テーマ一例）

- ・ AI/LLM/生成系
- ・ テスト手法（自動テスト）
- ・ Rust（ローレベルコーディング）
- ・ AWS オートスケーリング
- ・ アーキテクチャ／システム設計
- ・ モバイル
- ・ セキュリティ調査

ビジネスネットワーク委員会



委員長：ウイングアーク 1 s t 株式会社 執行役員 森脇 匡紀

ビジネスネットワーク委員会の目的は人脈形成の場（Meet Up）「学びたい！出会いたい！」を提供することです。世界をより楽しく、豊かなものに変えようとしている企業や変化にチャレンジしているヒト、特定業種に特化して尖ったノウハウを持つ企業や、新しいテクノロジーを駆使し世界を驚かせようとしているヒトなど様々な方に多く参加いただき価値あるマッチングの場として「meetALIVE」というイベントを開催しています。世の中を変えるきっかけの場としてMiJSの入り口的役割を担っているのが当委員会です。



委員長：株式会社ドヴァ 井口 和彦

営業マーケティング委員会ではBtoBのITベンダーの営業マーケティング分野における様々なテクノロジーを会員企業と共有しています。近年この業界は様々なテクノロジーの変化が起こっています。トレンドに流されることなく、しかし、新しい取り組みを積極的に取り入れ、従来の「人中心」の営業活動をベースにデジタルテクノロジーを加えることでその効果を最大化することが求められています。会員企業にそれらを発信しともに変化していくことが本委員会の使命です。

FY2023計画

開催月	テーマ	内容
4月17日(月)	運営打ち合わせ	2022の企画について
6月xx日(xx) 定例	オフライン情報交換会	テーマディスカッション、交流メイン(若手の交流機会に) 各社の活動、オンライン・オフラインどうしていますか??
7月12日(水) 定例	新事業企画プロジェクト	IDEA GARDEN誕生からこれまでの進化と8月からのワークショップの案内 @イントラマート オフラインメインのハイブリッド開催 メインターゲット若手
8月3日(木)(WS)	新事業企画プロジェクト アイデア創出WS	IDEA GARDENを使ったアイデア創出ワークショップ @リモート
9月～12月(WS)	新事業企画プロジェクト アイデア創出WS	5チーム、4か月間のインキュベーションプログラム @リモート
9月12日(火) 定例	プレゼン研修	まかせんしゃい井上さんのプレゼン研修:座学編 @未定 オフラインメインのハイブリッド開催
10月3日(火)(WS)	プレゼン研修	まかせんしゃい井上さんのプレゼン研修:実践編 ※合宿からの変更 @未定 オフラインメインのハイブリッド開催
10月(WS)	プレゼン研修	第13回 Japan IT Week 秋での実践 2023年10月25日(水)～27日(金) 幕張メッセ
11月8日(水) 定例	マーケティング企画	広報と営業とマーケティングの連携について @未定 オフラインメインのハイブリッド開催?
12月xx日(xx) 定例	オフライン情報交換会	テーマディスカッション、交流メイン(若手の交流機会に)
1月17日(水) 定例	展示会について	EXPO出展大反省会 @未定 オフラインメインのハイブリッド開催?
3月13日(水) 定例	営業研修	ヒューマンセントリックス中村さんの社内研修MiJS版 @未定 オフラインメインのハイブリッド開催?

人材育成プログラムでは、新入社員等の研修を合同で開催しております。合同開催するメリットとして、各社人事のノウハウを結集しMIJS加盟企業に入社した新入社員等がより充実した研修を受けられるほか、ノウハウやリソースなどが不足している加盟企業においても他の参加企業の人事担当者からインプットできるといった人事担当者の相互育成があげられます。多いときには新人100名が年に8日程度のカリキュラムに参加しております。

新人合同研修

4月4日 - 11日 「ビジネスマインド+ビジネスマナー」 6日間開催

- ・ ビジネスマナー① + 懇親会
- ・ ビジネスマナー②
- ・ ビジネス文書+アカウンティング
- ・ ビジネスコミュニケーション
- ・ プレゼン基礎編
- ・ プレゼン実践編

9月7日 「フォローアップ研修」 1日開催

10月未定 「AWS新人トレーニング」 半日開催

11月21日 「プレゼンテーション研修」 1日開催



MIJSプログラミングコンテスト

MIJS人材育成委員会、ニューテクノロジー委員会のコラボ企画として、MIJSのNo1プログラムを決定するイベント。

「社内ではNo1だが他でも通用するのか試してみたい」
「新人だがプログラムには自信がある、先輩にも負けない」
「他社のプログラムと交流を深めるきっかけを作りたい」

◆開催日時

2024年2月19日-26日 1週間の中で各社都合のよい時に実施
2024年3月7日 ソースコードレビュー会

◆参加費 無料

◆参加方法

別途発行するアカウントにてTOPSICにログインしてWeb受験いつでもどこからでも参加できます

◆出題内容

難易度の異なる2問の出題に対する90分間のコーディング勝負

◆対応言語

Awk、Bash、Brainfuck、C、C#、C++、C++14、Ceylon、Clojure、COBOL、Common Lisp、Crystal、D、F#、Fortran、Go、Haskell、Java、JavaScript、Julia、Kotlin、Lua、LuaJIT、MoonScript、Nim、Objective-C、Ocaml、Octave、Pascal、Perl、PHP、PyPy、Python、Ruby、Rust、Scala、Scheme、Sed、Standard ML、Swift、Text、TypeScript、Unlambda、Visual Basic

TOPSICについては以下ご参照ください。

<https://products.sint.co.jp/topsic>



「参加者の声」

ますますプログラミングに関心が高くなる中で、会員企業同士が切磋琢磨する機会はすごく重要で、エンジニアが主役として更なる高みを目指す機会だと思っています。

今回の参加は11社119名です。基盤として利用させているシステムインテグレータさんのTOPSICで更なる技術の向上のきっかけになればと思います！ありがとうございました！

経営者委員会（2021年度新設）



委員長：株式会社WOW WORLD 代表取締役 美濃 和男

経営者委員会は、参加者を会員企業の代表者（会長、社長など）に限定し、一般には公表できないような経営者ならではの体験談、知見、ノウハウなどの共有や意見交換を行います。開催頻度は2ヶ月に1回程度、参加者が持ち回りで情報提供することを原則とし、外部からゲストスピーカーも適宜招聘します。今年度は、アフターコロナの働き方（意見交換）、製品開発秘話などのテーマに取り組む予定です。

2021年度の開催実績：

- | | | | |
|-----|----------|-------------|--|
| 第1回 | 5月28日（金） | 16:00-18:00 | テーマ：敵対買収 |
| 第2回 | 7月13日（火） | 16:00-18:00 | 講演：製品開発秘話「生産管理グローバルパッケージmcframeはこうして生まれた」
ディスカッション：インセンティブ制度、報酬制度 |
| 第3回 | 10月6日（水） | 16:00-18:00 | 講演：ウイングアーク誕生秘話、そして何故一回目の上場は失敗したのか |
| 第4回 | 12月8日（水） | 16:00-18:00 | 講演：「駒井式サバイバルの秘訣」ネオレックス社 |
| 第5回 | 2月10日（木） | 16:00-18:00 | 講演：シムトップス30周年記念 裏歴史 |

2022年度の開催実績：

- | | | | |
|-----|-----------|-------------|---|
| 第1回 | 4月22日（金） | 16:00-18:00 | 講演：「IT業界の次世代創出！」～当社事例にみる変革方法論と、描く進化の未来像～ |
| 第2回 | 6月24日（金） | 16:00-18:00 | 講演：「ネクスウェイは幾多の危機をどう乗り越えてきたか？その時、親会社は！？」
ディスカッション：自社の取締役会運営について |
| 第3回 | 8月26日（金） | 16:00-18:00 | 講演：「祝 Gorilla Technology ナスダック上場！」アステリア流 海外投資・ビジネス展開の流儀 |
| 第4回 | 10月14日（金） | 16:00-18:00 | 講演：ソフトブレイン、エアウィーブ、サイバージムでの戦略&秘話 |
| 第5回 | 2月17日（金） | 16:00-18:00 | 講演：社内はイノベーションの宝庫だ！社内ベンチャーから始めた新規事業創出のストーリー |

日本最大級のアイデアソン「MIJSアイデアソン」 ～224人エントリー、69アイデアの中から最優秀賞が決定～



◆MIJSアイデアソン

MIJSアイデアソンは、日本をより良くするためのアイデアを自分事として考えて、具体的な形にしていこうという趣旨で開催された日本最大級のアイデアソンで今回が1回目となります。

◆今年のテーマ（2022年実績）

今年は、日本が直面する3つの課題をテーマとしました。参加者は好きなテーマでいくつでもアイデアを考えて応募できます。

テーマ1：増え続ける自然災害に備えて、ITの力で何ができるか

テーマ2：日本経済をITの力で活性化させるにはどうしたらよいか

テーマ3：少子高齢化社会に対して、ITの力で何ができるか



◆日程（2023年実績）

エントリー期間: 2023年9月1日～10月31日

アイデアソン当日: 2023年11月11日

結果発表会・表彰式: 2023年12月16日

◆実施形式

アイデア発想支援ツール「IDEA GARDEN」とオンライン交流ツール「Remo」を用いて、オンライン形式でアイデアソンを実施。参加者全員のアイデアを企画段階から全員で共有したり、相互にコメントをし合ったりしながら各自がアイデアを育てるユニークなアイデアソン形式です。

◆創出されたアイデア（2022年実績）

224人もの方がエントリーし、当日は143のアイデアが生み出されました。各チームでアイデアを育て上げて、最終的に69ものアイデアが応募されました。

◆アイデアの審査（2022年実績）

8名の実行委員が「有益性」「独創性」「実現性」の3つの観点でアイデアを審査し、次の5つのアイデアが賞に選ばれました。

<https://www.mijs.jp/archives/8192>

◆最優秀賞（2022年実績）

タイトル: バーチャル日本国籍&日本の観光資源のデジタル上の整理

評価されたポイント:

海外でアニメやゲームなどで日本に関心を持ってくれる人は多い。これらの潜在的なファンの人に働きかけて世界中に親日の人々を増やし、観光を促進する具体的な手段としてとても有効に思われる

MIJS鹿児島ワークショップ2023 ～地方創生の課題をデジタルで解決～



コロナでビジネスのあり方が大きく変わった日本IT技術の進化で物理的な距離がビジネスの妨げにならなくなった今、東京を離れて改めてビジネスを考えることで得られる気付きもあるMIJSワークショップが復活！
復活第二弾は鹿児島から地方創生の課題をデジタルで解決します！

2023年11月17日(金)

13:00-19:20 MIJS鹿児島ワークショップ2023+交流会

会場:SHIROYAMA HOTEL Kagoshima

主催:MIJSコンソーシアム

後援:公益法人かごしま産業支援センター、鹿児島県経営者協会、一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会

第1部 講演会

13:00-13:10 MIJS理事長挨拶

ビジネスエンジニアリング株式会社 代表取締役・取締役社長 羽田 雅一 氏

13:10-14:00

◆基調講演◆

「鹿児島県におけるDXの推進について」

鹿児島県知事 塩田 康一 氏

14:10-14:40

◆講演◆

「鹿児島レブナイズってどうなの？」

なんで、東京のIT企業がレブナイズの経営しているの？」

株式会社 鹿児島レブナイズ 代表取締役CEO

株式会社Wiz 代表取締役社長 山崎 俊 氏

14:45-16:15 ◆クロストーク(パネルディスカッション)◆

「ソフト・サービスで地方創生の加速を考える」

▽モデレータ

MIJS理事 クオリティソフト(株) 取締役CCO 飯島 邦夫 氏

▽パネリスト

株式会社 鹿児島レブナイズ 代表取締役CEO 株式会社Wiz 代表取締役社長 山崎 俊 氏

一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 会長 株式会社フォーエバー代表取締役 久永 忠範 氏

鹿児島市 CIO補佐官 久保田 司 氏

株式会社ビッグファイブ 取締役 川原 健司 氏

ChatGPT

16:20-16:50 MIJSのソフトウェアを一気にご紹介！

16:55-17:00 第1部閉会挨拶 株式会社日本システムデザイン 代表取締役社長 梅北 千広 氏

第2部 交流会

17:30-19:00 MIJS理事長挨拶～交流会



個社単独でできないことを可能に！

「コミットメント」

経営層が積極的に参加し活動をコミットする

「連携」

協業によるビジネス促進（アライアンス）

製品連携、共同プロモーション、海外展開、資本提供

「ノウハウ共有」

MIJS会員との相互の情報共有（ビジネスモデル、開発手法、パートナー制度・マーケティング手法、人材育成、人事制度）

■ 理事会員について

- 理事会員は理事会メンバーとして、MIJSコンソーシアムの活動方針、計画、予算等、理事会決議に関して投票権がある

■ 参加が望ましい企業（参加基準）

1. 代表者がコンソーシアムに対して積極的であり、自ら参加意思があること
2. MIJSの理念を理解し、共に成長する、応援していただける企業であること
かつ、以下の条件の一つ以上を満たすこと
 - 1) プロダクトベンダーであること（プロダクトをSaaS等の形態で提供する場合を含み、その合計の売り上げが全売上の50%以上を占めること）
 - 2) 有力な実績のある（認知されている）自社プロダクトを保有していること
 - 3) 今後、プロダクトビジネスを会社の柱にする計画を持っていること

■ 会費について

入会金：50万円

年会費：50万円

注）年会費は月割とする。途中入会の場合は、当該年度在籍期間分の会費とする（千円未満四捨五入） 退会した場合は、既に納入した年会費は返還しない

■ 一般会員について

- 一般会員は理事会員と共に委員会で活動する会員

1. MIJSコンソーシアムの理念に賛同すること
2. ISV、プラットフォームベンダー、SI企業、ITサービス企業であること

■ 入会について

- 委員会参加企業（団体）は、MIJS 会員として登録する
- 委員会（一般会員）への入会は、当該委員会での承認を必要とする

■ 会費について

- 売上3億円以上の企業、団体 30万円
- 売上3億円未満の企業、団体 10万円

注）年会費は月割とする。途中入会の場合は、当該年度在籍期間分の会費とする。

（千円未満四捨五入）

退会した場合は、既に納入した年会費は返還しない

■ スタートアップ会員について

- スタートアップ会員は、一般会員、理事会員と共に委員会で活動する会員

1. MIJSコンソーシアムの理念に賛同すること
2. ISV、プラットフォームベンダー、SI企業、ITサービス企業であること

■ 入会について

- 入会資格としては、設立から5年以内かつ年商1億円未満のソフトウェア・アプリケーション提供事業者であること。
- 委員会参加企業（団体）は、MIJS会員として登録する
- 委員会（スタートアップ会員）への入会は、当該委員会での承認を必要とする

■ 会費について

- 3万円

注）年会費は月割とする。途中入会の場合は、当該年度在籍期間分の会費とする。

（千円未満四捨五入）

退会した場合は、既に納入した年会費は返還しない



MiJS